

危機的な状況にある言語・方言の活性化に向けた取組

令和7年度予算額

(前年度予算額)

23百万円

23百万円



背景・課題

- ◆ユネスコ“世界消滅危機言語地図”発表（平成21年2月）
→ 日本の場合は8つ（アイヌ語・7方言）が消滅危機
- ◆アイヌ政策推進会議の報告、アイヌ施策推進法、基本的な方針
→ 国によるアイヌ語の復興の取組
- ◆東日本大震災からの復興の基本方針（平成23年7月）
→ 被災地の方言の再興

	アイヌ	八丈	奄美	国頭	沖縄	宮古	八重山	与那国	被災地
判定	極めて深刻	危険	危険	危険	危険	危険	重大な危険	重大な危険	危険

文化庁委託調査研究（平成22・24・25年度）

取組内容

○危機的な状況にある言語・方言の活性化・調査研究 12百万円

- 保存・継承に不可欠な記録を欠く危機方言の記録作成・啓発、啓発事業、研究者と行政等担当者の協議会の実施。
- 事業内容：記録作成・啓発
危機言語・方言サミット（発表シンポジウム）
- 事業期間：平成22年度から実施

○アイヌ語の保存・継承に必要なアーカイブ化事業 9百万円

- 消滅の危機度が最も高いアイヌ語の復興に向け、保存・継承、学習に資する環境を整えるため、「アナログ資料のデジタル化」「アーカイブ作成支援」を実施。
- 事業内容：アナログ資料のデジタル化
アーカイブ作成支援
- 事業期間：平成27年度から実施

○危機言語話者の育成 2百万円（新規）

- 極めて深刻とされているアイヌ語についての話者育成
- 事業内容：現代アイヌ語話者育成
- 事業期間：令和7年度から実施予定

危機言語の保存・継承に向けた3つの観点

- ◆公的な位置付け
アイヌ施策振興法（平成31年法律第16号）
学習指導要領（平成29年告示）解説
文化芸術推進基本計画（第2期）（令和5年3月24日閣議決定）

- ◆言語的基礎データや教材等の作成
消滅の危機にある方言の記録作成・啓発
アイヌ語アナログ資料のデジタル化
アイヌ語アーカイブ作成支援



- ◆社会的なイメージの向上
危機的な状況にある言語・方言サミット
危機的な状況にある言語・方言に関する研究協議会

